復 命 書

17年 10月 17日

静政会 代表

鈴木 和彦 様

議員名 佐藤 成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

記

1 日 程

17年 10月 15日(土)

2 視 察 先(都市名、視察施設等を具体的に)

東京都千代田区

女性のための政治スクール参加

3 視察内容(調査事項、調査結果を具体的に)

「男女共同参画社会の実現に向けて」

内閣府男女共同参画局総務課長 新木雅之 氏

「今後のエネルギー政策について」

評論家・ジャーナリスト・原子力委員会委員 木元教子氏

4 そ の 他(所感、感想等)

別紙参照

男女共同参画社会の実現にむけて 内閣府男女共同参画局総務課長 新木雅之氏 策定から 5 年になり、改定がなされる。まずその

基本的考えを伺った。

※政策・方針決定過程への女性の参画の拡大・2020 年までに30%の目標

※仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直 し・短時間勤務制度の導入

※あらゆる暴力の根絶※男性にとっての男女共同参画社会の意義や責任など。いろいろと手がくわえられるが、これからの社会であたりまえと思える社会基盤をつくる後押しをするために重要な役割を担う基本法はしっかりと作ってほしい。

今、バックラッシュがきていることを懸念している受講生から沢山の質問が出た。皆が関心ある証拠だ。 ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)という言葉の表現を変えるべきとの動きがあるとのことだが、国際機関で一般的に使用されているのに疑問だ。

今後のエネルギー政策について 木元教子氏 評論家 ジャーナリスト・原子力委員会委員

『暮らしの中のエネルギー』を使いながら分かりや すい親しみやすい説明であった。何事も、少子・高齢 社会はつきまとう。が、人口の減少とは逆に、世帯数 は増加していて、2015年には、5048万世帯になると 予想されている。世帯数が増えれば、家電製品や自家 用車などが必要になりエネルギー消費も増えていく。 日本のエネルギー自給率は19%しかない。ちなみに 食糧自給率も40%あまりしかない。電力を安定的に 供給するためにベストミックスと呼ばれるバランス がはかられている。ヨーロッパなどは、化石資源では なく各国の間に送電網が整備され直接輸出入されて いる。新エネルギーの研究開発がなされているがまだ まだ充分な供給ができない。講師も初め、原子力には 抵抗があったとのことだが、安全な使い方をすれば、 私たちの生活の強い見方になるとのこと。同感だ。